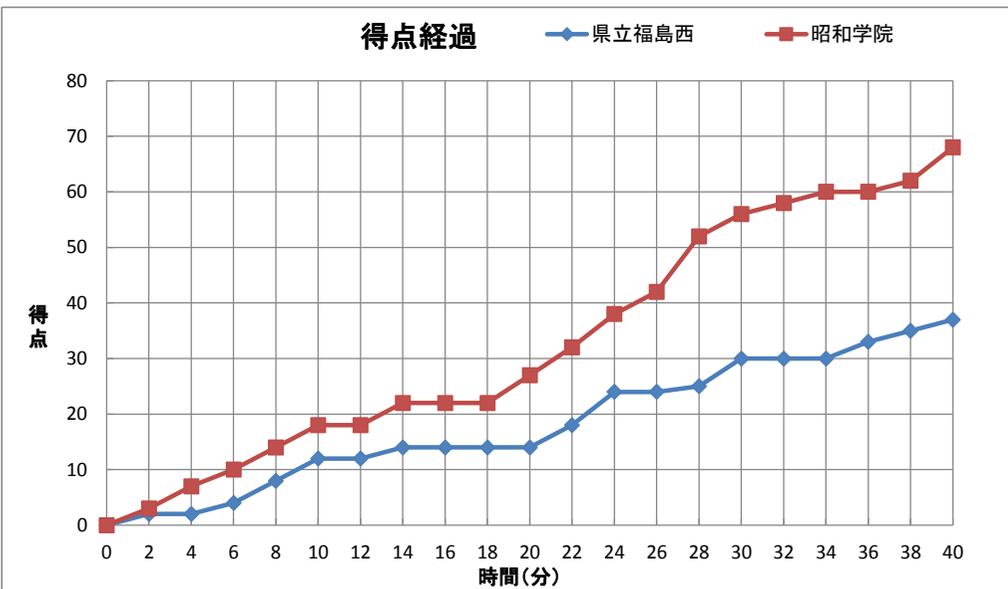


平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

女子		平成27年7月30日		11:40 開始													
2回戦		京都市横大路運動公園体育館		I													
県立福島西	37	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>1st</td><td>18</td></tr> <tr><td>2</td><td>2nd</td><td>9</td></tr> <tr><td>16</td><td>3rd</td><td>29</td></tr> <tr><td>7</td><td>4th</td><td>12</td></tr> </table>	12	1st	18	2	2nd	9	16	3rd	29	7	4th	12	68	◎	昭和学院
12	1st	18															
2	2nd	9															
16	3rd	29															
7	4th	12															
(福島県)			(千葉県)														
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
4	黒川 栞	4	0	2	0	1	* 4	荻野 あかり	7	1	1	2	0				
5	成田 ちはる	-	-	-	-	-	* 5	中村 美羽	10	0	3	4	0				
* 6	三浦 彩加	0	0	0	0	2	6	小野尾 梨紗	5	1	1	0	1				
* 7	矢上 彩乃	8	0	4	0	1	* 7	山本 由真	7	0	3	1	3				
8	高橋 莉	3	1	0	0	0	* 8	赤穂 ひまわり	20	0	9	2	0				
9	菊田 世奈	0	0	0	0	1	* 9	山本 加奈子	9	1	3	0	1				
* 10	渡邊 悠	8	0	4	0	5	10	安藤 礼乃	2	0	0	2	0				
11	吉田 早希	0	0	0	0	0	11	田中 咲弥	2	0	1	0	0				
12	霜山 萌	0	0	0	0	0	12	山下 詩織	0	0	0	0	0				
13	成田 瑞穂	4	0	1	2	2	13	小島 彩	0	0	0	0	0				
* 14	松本 唯	3	0	1	1	2	14	宗形 真季	4	0	1	2	0				
* 15	佐藤 京香	7	0	3	1	2	15	佐古 愛	2	0	1	0	0				
コーチ	渡邊 拓也					0	コーチ	鈴木 親光					0				
Aコーチ	末永 瑞貴						Aコーチ	日下部 知恵									
合計		37	1	15	4	16	合計		68	3	23	13	5				
主審: 東田 憲和																	
副審: 古谷 栄一郎																	



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	12:14	:	25:00	:	:	:	:	:	:
TeamB	:	:	:	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕
この大会優勝を狙う昭和学院高校と、順当に初戦を突破した県立福島西高校との一戦。
第1P、昭和#7のジャンプシュートから始まる。その後も昭和の内外バランスのとれた積極的な攻めと、リバウンドで加点していく。福島西はシュート後オールコートで2-2-1のゾーンディフェンスを仕掛け、何とか昭和のオフェンスリズムを断ち切りたいが冷静なボール運びでなかなか機能しない。残り3分昭和#8のドライブインで12対4とする。しかし残り2分を切ったところで、福島西は#10の連続シュートなどで14対12とし2点差まで詰め寄るが、すかさず昭和も反撃し、18対12で第1P終了。
第2P、福島西は昭和のインサイド#5#8に対し身体を張って徹底的にマークする。それが功を奏し昭和はインサイドを使って攻めようとするもシュートが決まらない。対する福島西もシュートを放つが得点につながらない。両チーム無得点状態の時間が続く。ようやく残り2分を切ったところで昭和#7のドライブイン、#4の3Pで27対14とし前半終了。
第3P、昭和が放つシュートを#5#8がオフェンスリバウンドし、リズムよく加点していく。福島西も外角からやドライブインで積極的にシュートを狙い、第2ピリオドとは違い、両チーム得点を重ねていくがなかなか点差は縮まらない。残り5分昭和#8ミドルシュートが決まり40対24とする。昭和は#8をベンチに下げる。福島西はハーフコートで2-3のゾーンを仕掛けるが、昭和は中外の合わせでさらに加点。再び残り3分で#4#8を投入し、福島西はマンツーマンに切り替えるが、昭和の#8を抑えることができず、ゴール下を支配され56対30と大量リードを許す。
第4P、昭和は主力メンバーをベンチに下げる。開始早々昭和#14のジャンプシュートが決まる。昭和はディフェンスリバウンドから速い展開で攻めるがメンバー同士の意気が合わず、得点につながらない。対する福島西は最後まで必死に食らいつくが、無念のタイムアップ。68対37で終了。高さでは劣るものの、スピードを生かしコート走り回った福島西の選手を称えたい。

戦評: 波多野 清子 記録: 鳥羽高校